

# アイデアと発信力で挑む！トラック業界ビジネスコンテストで最優秀賞！

2025.10.2



9月28日（日）、イオンモール平岡で開催されたトラック業界ビジネスコンテストに、平岸マイプロジェクトメンバーが参加しました。そして、見事、本校3年生の初沢さん・山田さんチームが最優秀賞を受賞しました。トラック業界の課題を解決するアイデアを審査員と観客の前で発表するこのコンテスト。今回は観客も



審査に加わる形式で行われました。

二人は「トラック業界の課題をみんなに知ってもらうためのイベント企画」を提案。ユニークな発想とわかりやすいプレゼンが高く評価され、審査員からも「アイデアだけでなく、プレゼン力が素晴らしい」と講評をいただきました。



また、同じく出場した3年生の大久保さん・長津さんチーム、大矢くん・豊田くんチーム、2年生の小山内さん・砂原くん・藤田さんチームも奨励賞を受賞。3年生からは「今回挑戦して本当に良かった」との感想が、2年生からは「来年はもっと工夫して参加したい」と意欲的な声が聞かれました。学年を超えて挑戦がつながり、次年度への期待も広がります。



## 主体性の連鎖！「平岸なんでも talks」



さらに、先週は「平岸なんでも talks」が2回開催されました。第7回(9月24日)では3年生の川口くんが「ピーター・ドラッカーから学ぶマネジメント論」をテーマに登壇。リーダーシップとマネジメントの違いを、わかりやすい資料で解説しました。第8回(9月25日)では3年生の梶原くんが「超電導物質のナゾ？～ゼロ抵抗について～」をテーマに発表。専門的な内容ながら、身近な活用例を交えて説明し、参加者の興味を大きく広げました。



## 小さな子どもたちに伝える海の未来 ～暗闇・海中探検フェスを実施～



また、9月27日（土）、札幌学院大学新札幌キャンパスにて、本校生徒と北ガスフレアスト株式会社、札幌学院大学が連携して「暗闇・海中探検フェス」が開催されました。

本校からはプロジェクトクルーのメンバーを含む13名が参加。事前準備では、大学生と一緒に役割分担を話し合い、誰もが積極的に立候補し合う姿が見られました。また、「小さい子どもたちが喜ぶにはどうすれば



よいか」をテーマに話し合い、寸劇の内容や音響や小道具の工夫について、アイデアが出されました。

当日は60名以上の親子が来場し、大盛況。子どもたちは、大学生から鮭の生態を学んだ後、高校生による寸劇を観劇。さら



に海に見立てたエリアでペットボトルを集めてリサイクル工場に運び、きれいになった海のエリアで星空を楽しむという一連の体験を通して、海洋プラスチック問題を学びました。

生徒たちは各エリアで臨機応変に子どもたちに対応し、会場は笑顔であふれました。終了後のミーティングでは、プロジェクトクルーのリーダー和田さんが高校生の代表として挨拶。生徒からは「小さい子どもたちとたくさん話せて嬉しかった」「大学生のコミュニケーション力に刺激を受けた」という声が上がりました。準備段階から積極的に取り組んだ経験が、生徒一人ひとりの成長につながったイベントとなりました。

準備段階から積極的に取り組んだ経験が、生徒一人ひとりの成長につながったイベントとなりました。